

パプア ニュー ギニアの 民族美術

—新収蔵記念—

植野記念美術館開館20周年
植野藤次郎の業績から Part1

併催「中国絵画展」

平成25年
6月15日(土)
~7月7日(日)

【月曜休館】

10時00分~17時00分 (入館は16時30分まで)

料 300円 大学・高校生 200円 中・小学生 100円
ココロカード利用可・20名以上団体割引

主 催 丹波市教育委員会、丹波市立植野記念美術館
後 援 丹波新聞社

丹波市立 植野記念美術館

丹波市水上町西中615-4 TEL0795-82-5945 <http://edu.city.tamba.hyogo.jp/ueno/>

パプア ニュー ギニアの 民族美術

—新収蔵記念—

植野記念美術館開館20周年
植野藤次郎の業績から Part1

併催「中国絵画展」



当館の創立20周年を記念して、本館の建物と収蔵品を寄贈された、植野藤次郎氏を偲び、その文化業績を紹介する展覧会シリーズを開催することになりました。そのPart1としてパプアニューギニアの民族美術を紹介します。

当館の館蔵品であるパプアニューギニアの民族美術コレクションは、故植野藤次郎氏がその生涯をかけてとりくんだ種々の文化事業の一環として、エンバ民族芸術探検隊を組織したことにより収集されたもので、当館の主要なコレクションのひとつとなっています。民族芸術の宝庫として世界に名高いパプアニューギニアは、容易に近づけない密林におおわれていることもあって、比較的開発が進まず、最近まで古い姿をよく残してきました。とくに北部を東流する大河セビック川流域には独特の文化が形成され、19世紀になってヨーロッパに紹介されたセビック美術は大きな反響を呼びました。精霊とともに生きる人々の豊かな精神生活を反映した土器、仮面、神像などは、芸術思潮に大きな影響を与えてきたといわれています。

今回の展示は、植野氏寄贈のパプアニューギニア美術コレクションに併せて、一昨年度に民間から当館へ寄贈された弓矢や太鼓、装飾品などの新収蔵品を加え、あらためてパプアニューギニア民族芸術の鮮烈な美を紹介いたします。なお、併催として、館蔵品展「中国絵画展」を開催します。



徐希「雨景」

関連行事

■ 講演会

日時 6月16日(日) 午後1時30分より
会場 植野記念美術館 2階 研修室
演題 「パプアニューギニア美術の魅力 -1978年エンバ探検隊に参加して-」
講師 福本 繁樹 (染色家、大阪芸術大学教授、民族芸術学会理事)

■ ワークショップ「世界に一つ・かぶりものお面を作ろう！」

日時 6月30日(日) 午後1時30分より
会場 植野記念美術館 2階 研修室
内容 1枚の紙をカラーデザインし、切り抜いてかぶれるお面を制作する。
講師 進藤 妙子 他
募集 30名

交通案内



- ▶ JR福知山線柏原駅(又は石生駅)下車後、神姫バスで「美術館前」下車すぐ。
- ▶ 舞鶴若狹自動車道・春日JCTから北近畿豊岡自動車道・氷上I.C.経由、氷上の信号を左折。

丹波市立 植野記念美術館

〒669-3603 丹波市氷上町西中615-4
TEL.0795-82-5945
<http://edu.city.tamba.hyogo.jp/ueno/>

